

# Mariko通信



VOL.30  
(08,6,2)

発行 松井真理子と天理は元気!活気の会 〒632-0013 奈良県天理市豊井町718-4 tel/fax 0743-62-0606

## 一般質問

### 市立病院の経営健全化

要旨(三月十日 約三十分)

**松井** 天理市立病院は、病床利用率70%未満の奈良県内自治体病院ワースト3と新聞に掲載され、市民の皆様はショックは多大だ!

市立病院は、地域医療の核となる大切な機関であるべきだが、医療事故の報告が今議会でも2件報告され、市立病院の市民評価は下がる一方である!

小児科の入院等が間もなくできなくなり、医療制度改革に伴い特定健診、特定保健指導がうまく機能しなければ二年先に閉院する噂が広がっている。

市立病院は禁煙外来にも力を入れ、禁煙の権威である奈良女子大学の高橋裕子先生にも指導いただき、質のよい禁煙指導をしているのに、評価がドンドン下がっていくことを、とても悲しく思う。

現在全国の多くの自治体病院が医師不足と財政赤字を抱え危機的状況にある。病床利用率が低い原因は医師不足や患者の減少と分析され、高い給与比率等の高コスト体質が自治体病院の特徴とされる。

総務省は、三年以内に経営を効率化し赤字に転換するよう、平成20年度中の改革案策定を求めた。平成18年3月に議会に提出された「集中改革プラン」には、「売却、廃止なども含めた運営のあり方を検討することになる」と明記されている。

**現在**の進捗状況は?

**市長** 18年に財政分析や診療圏分析等の経営分析を行い、その結果を踏まえて市民アンケート調査を実施した。

19年度は、進むべき方向を真摯に検討し、医療技術者を中心に診療科別の損益シミュレーションを実施し、具体の経営改善案の策

定と評価を行い、収益確保に努めている。一例として、近隣病院との連携強化による入院患者の確保や、睡眠時無呼吸症候群の検査入院時間の短縮、夜間入院また早朝退院等の取り組みも行っている。

**松井** 全国的に自治体病院改革の動きが出ています。公設民営化・指定管理者制度・地方独立行政法人(非公務員型)・地方公営企業法全部適用など、視察の増えている所もある。

天理市立病院の今後の方向性は?

**市長** 本市には、県内でも屈指の「天理よろず 병원」と、治療に卓越した成果を上げている「高井病院」がある。医療の環境がある程度整っている場所での市立病院が、どう生き延びていくか一番大きな課題であり、実効力のある改革プランの策定に着手している。

近隣病院や診療所との連携を強化して、病床利用率の向上と、収益及び医師の確保も要請したい。

### 文教民生委員会

要旨(三月十一日)

**松井** 放課後子ども教室推進事業は、国からの方針で、平成19年度から教育委員会と児童福祉が連携を図って、小学校校区で放課後の子供たちの安全で健やかな活動場所を確保し、総合的な放課後対策として、県内では今11市町村が実施されている。大和郡山市では全小学校で実施されている。

天理市は一校も実施していない。なぜか?

**長友教育次長**

平成18年度末、本市の学童保育の充実状況と競合、重なり合うような部分が非常に多いという判断で、手を挙げない結論。

**松井**

国は、教育委員会と児童福祉がもつ連携を図る方向。奈良県内で、奈良市と宇陀市が

学童保育の担当は教育委員会。一空き教室の利用や、先生との連携・連絡が教育委員会にある方が、何かと仕事がしやすい」と職員。学童保育を教育委員会の所管にする計画はあるか?

**福井副市長**

それぞれの部局と協議し、どうか検討していきたい。

**松井**

「PTAの講座とか、子供の地域活動に料理教室を取り入れてほしい」という要望がある。

介護している4人に1人が今は男性。奥さんを介護している。男性に対する料理教室・メタボリックシンドロームの解消・捨てるものがないエコクッキング等、料理教室を開催できるか?

**長友教育次長** PTAに関しては、自主的な団体なので、申し伝えることは可能。

**山田健康推進課長** 福住で年間10回、男性の方が2名入っておられる。保健センターでも年間10回やっている。

平成20年度からは健康づくりの中に食育を中心に据え、市民の方たちも含めて積極的に進めたい。

**松井** 人権学習としてのセクハラ研修の方向性は?

**長友教育次長** 担当部局、講座が可能な教育総合センターの所長にはその旨伝え、研修枠を設けたい。

**松井** 特別支援教育支援員の配置が予算拡充で、平成19年度より、平成20年度は倍の840万円。とても嬉しい。具体的には?

**長友教育次長** 平成20年も平成19年同様、中学校1、小学校2を増やし、結果、中学校2、小学校4配置。

### 長柄プール廃止に反対しました!

①事故に対する安全性は、監視員の教育を強化すれば良いことで、廃止の理由にはならない。  
②親子で楽しむプールは天理学童成政策の趣旨に反する。  
③プールの利用の高齢者人口が増えている。

運動不足や腰痛、肩こり、ひざの痛み、冷え性の解消。プールでの浮力で、足腰に負担をかけずに楽に運動ができる。水中運動により、血液循環がよくなり、自然治癒力を高める。水中ウォーキングは筋力トレーニングを兼ねた有酸素運動で、ダイエットにも効果がある。高血圧の人は血圧が下がり、低血圧の人は血圧が正常になる状況が見られる。

プール廃止は、市長の意に反する。政策の趣旨にも反する。という理由で反対しました。

採決の結果、賛成は2人、反対は松井+1議員で、2対2になり、委員長裁決となり、委員長は否決裁決しました。

最終日の本会議で、「25mプールと幼児用プールの存続」の修正案が全会一致で可決されました。

一時保育の保育料値上げに反対しました!  
200円ずつの値上げ案が上程されました。

松井は  
①子育てをサポートして欲しい困っているお母さん方を排除する。  
②金銭的負担が増え、余計に子育てがしにくくなる環境が増える。

③市長の天理学童成政策の趣旨に反する。  
という理由で反対しましたが、賛成多数で可決されました!

最終日、本会議場でも反対討論をしましたが、賛成多数で値上げは可決されてしまいました!

### 給食費も値上げです!

小学校  
月4000円→4100円  
中学校  
月4200円→4300円

成人女性を「OOちゃん」と呼ぶのはセクハラ→性的嫌がらせ  
パワハラ→上の立場を利用した嫌がらせ

### 市民が願うまちづくり重要度ランキング

- 1位 いつも安心して医療が受けられるまち!
  - 2位 高齢者が安心して暮らすことができるまち!
  - 3位 子どもを安心して育てることができるまち!
- (平成19年10月「天理市民意識調査」)

ケータイから  
ホームページやブログへは→  
パソコンへのメール送信画面→

詳しくはブログを見てネ(^\_^)-☆ 写真・コメント入りです!

真理子のあしあと 検索

市民相談は ほとんど毎日ありますが、プライバシー保護の為、載せていません。松井のプライベートも載せていません(^\_^)

- 3/ 1 暮らしの見直し講演会 (奈良県立文化会館)
  - 2 前裁公民館くらしの創作展
  - 井戸堂公民館まつり
  - 3 Mariko通信 VOL. 29 発行
  - 4 菜の花が地域と地球を救う 藤井絢子さん (県文化会館)
  - 県会計報告提出
  - 6 3月議会 開会
  - 7 発達障害者をテーマ「モーツァルトとクジラ」視聴
  - 8 布留川の浄化活動
  - Heart to Heartコンサート (文化センター)
  - 第25回 (2007年度 第4回) 天理LD研究会
  - 9 第10回 かがやきフェスティバル (かがやきプラザ)
  - 川西LD研究会「就労と生活における支援のあり方」
  - 10 3月議会 一般質問「市立病院の経営健全化」
  - 報道の現場から 辛坊治郎さん講演会 (郡山城ホール)
  - 11 文教民生委員会 委員として出席
  - 12 市民経済委員会 傍聴
  - 13 建設水道委員会 傍聴
  - 14 総務財政委員会 傍聴
  - 17 予算審査特別委員会 傍聴
  - 21 3月議会 最終日
  - 24 廃食油精製プラント見学会 (京都)
  - 25 曾野綾子さん講演会 (天理大学ふるさと会館)
  - 26 第80回選抜高校野球大会 天理高校応援
  - 28 第20回 天理市ごみ問題市民円卓会議
- 4/ 3 天理の財政状況と今後のまちづくり (天理観光農園)
  - 9 天理北中学校入学式
  - 10 市議会議員特別セミナー(滋賀) 1日目
  - 11 市議会議員特別セミナー(滋賀) 2日目
  - 14 第21回 天理市ごみ問題市民円卓会議
  - 15 気候保護法の実現にむけて (京都)
  - 21 市議会議員特別セミナー(千葉) 1日目
  - 22 市議会議員特別セミナー(千葉) 2日目
  - 24 臨時議会
- 5/12 長柄運動公園施設整備事業に伴う竣工式
  - 13 熊取町「議会基本条例」に学ぶ
  - 15 2008年度 人権ふれあい集会 第1回 実行委員会
  - 17 第8回 全国菜の花サミットin信州・大町 1日目
  - 18 第8回 全国菜の花サミットin信州・大町 2日目
  - 19 第8回 全国菜の花サミットin信州・大町 3日目
  - 市町村議会議員特別研修(滋賀) 1日目
  - 20 市町村議会議員特別研修(滋賀) 2日目
  - 21 市町村議会議員特別研修(滋賀) 3日目
  - 22 第44回 地方自治経営学会研究大会(東京) 1日目
  - 23 第44回 地方自治経営学会研究大会(東京) 2日目
  - 28 後期高齢者医療制度 県保険福祉課の説明(市町村会館)
  - 31 市民が広げる議会公開(大阪ドーンセンター)



声  
あなたの声を  
電話で聞いただけで  
その日一日  
ころがなごむ  
理屈じゃねんだよなあ  
相田みつをさんの詩



3期目10年目に入りました。  
市民の皆様  
「成長したなあ〜！」と  
言っただけの議員にな  
れるよう頑張ります!!  
応援して下さい〜い(^0^)/

熊取町「議会基本条例」に学ぶ 第86回 自治体議員勉強会 in熊取

この勉強会は 大阪府堺市議会議員の 長谷川俊英さんが主宰されています。松井と政治スタイルの似た、議会では1人で無党派で活動している議員が多く、全国に たくさんの仲間がいます\(^o^)/♪

「議会基本条例」は議会の憲法であり、最高規範です!

だから、議会改革や議会活性化の為に、全国各地で「議会基本条例」が制定され始めています。

平成18年5月に北海道栗山町が全国初、その後、三重県や三重県伊賀市、そして大阪府熊取町は、今年の3月27日に「議会基本条例」を全会一致で可決しました。(うらやましい〜!!)

熊取町の条例の特色は、

◎議会報告会の開催 (第6条)

案内チラシの各戸配布、会場設営など、人集めや準備も議員たちの共同作業。職員には頼まない。

また地盤に関係なく議員が全自治区に出向き、議会報告をし、住民と膝を交えて質疑応答をする。住民の生の声を聞いて現状を認識。

議員は勉強していないと答えられない。勉強を重ねていた議員はチャンス到来!! 住民からもらった宿題は、きちんと文書にして届ける!!

◎議会広報 (第14条)

賛否に分かれた議案は、誰が賛成で誰が反対したか、議員の名前をすべて書き、議決結果はどうなったかを議会便りに掲載する!!

◎反問権・一問一答方式 (第7条)

町長や執行部から、議員に逆質問ができる。議員が一方向的に質問するだけに留まらない!!

◎議員の自己研鑽 (第3条・第13条)

議会改革が進むと、議員は勉強しないと恥をかくことになり、必然的に議員の資質が上がる!!

熊取町議会前議長は「議員がやるべき事をしないから、批判をあびる。住民から『こんなに熱心に仕事をしてくれる議員なのだから給料をもっと上げたら良い』と言ってもらえるだけの活動をすべき!」と言っています。

先に制定している伊賀市議会前議長も「地縁、血縁中心の選挙が変わり、地域代表としての議員より、専門性のある議員が育つ」と言っています。

天理市の条例化は、まだまだこれからです。

全国菜の花サミットin信州・大町 食油文化の再生

〜地球温暖化防止と循環型社会をめざして〜

地域内循環をめざして活動している仲間が、全国から510人集まりました。

交流会で松井真理子は、乾杯のご挨拶をしました→ 食とエネルギーの地産地消とは・・・

70年代に世界を襲った石油危機を教訓に、ドイツでは資源枯渇が考えられる化石燃料に頼らない、しかも温室効果の高いCO2を抑える化石代替エネルギーとして、菜種油の燃料化計画を強力に進めています。

日本でも地球温暖化防止や環境の事を考え、また、ガソリンなどの化石燃料の高騰を背景に、休耕田や遊休地に菜の花を植え、菜種を収穫し、菜の花の種からとる菜種油や、使用済み天ぷら油など廃油を加工したバイオディーゼル燃料(BDF)を利用する動きが各地で広がっています。

菜種油は料理や学校給食に使い、搾油時に残った油かすは良質の肥料や飼料として使います。

廃食油は回収し、石けんやBDFにリサイクルします。

軽油に替わる燃料としてディーゼルエンジン車にBDFを利用します。

BDFは軽油に比べSOxや排煙の排出が極端に少ないので、温暖化防止などにも効果があり、資源とエネルギーの両面から有効です。

また、大気中に排出されたCO2は菜の花を栽培することで吸収されます。菜種の茎も堆肥化することで有効利用できます。

さらに、養蜂との連携や、菜の花の観光利用など、地域内の資源循環サイクルへの展望がより広く深く開かれていきます。

菜の花を植えることで、資源やエネルギーが地域の中で循環するのです。このプロジェクトが広がると、菜の花畑は「巨大油田」に替わります。

「地域自立のエネルギー」です。

国内の多くの自治体に広がっています。

あなたも「菜の花エコプロジェクト」に参加しませんか?



第44回 地方自治経営学会研究大会 (東京)

明日の地方の方向を問う 地方財政、地域再生、限界集落

全国から約850人の議員たちが参加しました。

この学会は、メディアで有名な講師ばかりです。

1日目は、パネルディスカッションの後、福岡 政行さん(白鷗大学教授)・嘉田 由紀子さん(滋賀県知事)・穂坂 邦夫さん(前志木市長)などの講演がありました。

2日目は、片山 善博さん(慶応大学教授・前鳥取県知事)の「地方はどう立ち上がるか 財政の窮乏、地方分権停滞感の中で」・根本 良一さん(前福島県矢祭町長)の「24時間働く職員」・橋場 利勝さん(北海道栗山町議会議員)の「自治体議会の改革 全国初『議会基本条例』を制定」があり、全国の自治体から視察が殺到しているという刺激的な報告でした。

午後から「地方の危機一崩れて行く地方都市、地方農山村、迫る限界集落の危機」をテーマに、松島 貞治さん(長野県泰阜村村長)・三浦 展さん(カルチャースタディーズ研究所主宰)・大野 晃さん(長野大学教授)たちの講演がありました。